

教科	理科	科目	地学基礎	学年	第3学年	講座	
単位数	2 単位	教科書	地学基礎新訂版（実教出版）				
副教材	ボジュアルプラス地学基礎ノート（実教出版）						

学習目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、観察・実験などを通じて、日常生活や社会との関連性を理解させるとともに、科学的な見方や考え方を養う。
------	---

		学習計画及び内容		考査
1 学 期	4月	太陽系の中の地球	太陽系の概観について学習する。 太陽系の誕生と惑星の分類について学習する。 太陽系の天体の素顔と惑星の構造について学習する。	第1回考査
	5月	太陽とその進化	太陽のすがたについて学習する。 太陽をつくる物質とエネルギーについて学習する。 太陽の明るさと活動について学習する。 太陽の誕生とこれからの太陽について学習する。	
	6月	宇宙のすがた 地球の形と大きさ 地球内部の構成	宇宙の構造と誕生について学習する。 地球の形と大きさを調べ、地球について学習する。 地球内部の層構造について学習する。 地球内部を構成する物質について学習する。	第2回考査
	7月	プレートの運動 火山と地震	地殻を構成する岩石について学習する。 プレートテクトニクス、大地形の形成について学習する。 火山活動と地震活動について学習する。	
2 学 期	8月	地層と化石	地層のでき方と地質構造の形成について学習する。	第3回考査
	9月	古生物の変遷と 地球環境	化石と地質時代の区分について学習する。 初期生命と大気の変化 (先カンブリア時代)について学習する。	
	10月	大気の大循環 海洋の構造と 海水の運動	多様な生物の出現と脊椎動物の発展 (古生代～中生代)について学習する。 ほ乳類の繁栄と人類の発展(新生代)について学習する。	
	11月	日本の四季の 気象と気候	大気中の水と雲とその状態について学習する。 地球と大気のエネルギー収支について学習する。 大気の大循環(温帯・熱帯低気圧)について学習する。 海洋の層構造と海水の運動・循環について学習する。	第4回考査
	12月			
3 学 期	1月	日本の自然環境	気象と気候について学習する。	第5回考査 (3年1月) (1、2年 3月)
	2月	地球環境の科学	日本の四季について学習する。	
	3月			

学習方法	学習する教科書の範囲を読み、分からないところを演習ノートにチェックしておく。そして、授業で学習した範囲について演習ノートでまとめ、内容を復習する。分からないことが残っていたら次時に質問する。授業中に課された課題は、その日のうちにすませる。各定期考査前は、教科書をよく読み返しながら、演習ノートの内容を復習し、問題演習をする。理解不足なところや勉強の仕方がわからないときは随時、教科担任に質問する。
------	--

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を化学的に観察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

備考	
----	--